

経営協議会議事要旨

1. 日時 令和2年11月17日(火) 13:30~14:35
2. 場所 創立50周年記念会館2階 岩木ホール
3. 出席者 福田(学長・議長)
岡井, 櫛引, 熊地, 永澤, 九戸, 木村
吉澤, 渡邊, 郡, 若林, 石川, 大山, 安川の各委員14名
欠席者 青山, 今井, 三國谷の各委員3名
陪席者 山内監事, 吉田監事, 柏倉学長特別補佐, 杉原国際連携本部長, 加藤法人
内部監査室室長, 福島教育学部長
事務部陪席 太田参事役(病院再開発担当)(兼)経営企画課長, 阿部総務部長, 飯田
財務部長, 小椋学務部長, 中西施設環境部長, 齊藤研究推進部長(兼)社
会連携部長, 村市医学部附属病院事務部長, 大川総務広報課長, 古舘学長
戦略企画課長, 後藤人事課長, 金沢調整役, 浅利財務企画課長, 加藤財務
管理課長, 齋藤契約課長, 宍戸施設企画課長, 三上教育学部事務長

4. 配付資料

- 資料1 【事前配付】弘前大学将来ビジョン(案)
- 資料2 【当日配付】国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 資料3 【当日配付】令和2年度弘前大学予算実施計画の変更について(案)
- 資料4 【当日配付】附属病院診療機能強化に伴う土地・建物の取得について
- 資料5 【当日配付】弘前大学の最近における新型コロナウイルスへの対応状況
- 資料6-1 【事前配付】組織評価について(概要)
- 資料6-2 【事前配付】令和元事業年度組織評価の結果[確定]
- 資料7 【事前配付】弘前大学教育学部附属学校の将来計画
- 資料8 【当日配付】「令和2年度国立大学法人弘前大学レポート」
- 資料9 【当日配付】令和2年度医学部附属病院の経営状況
- 資料10 【当日配付】令和2年度内部監査結果報告書
- 資料11-1 【事前配付】令和元事業年度財務諸表の承認について(通知)
- 資料11-2 【事前配付】国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越し
に係る承認について

5. 議事

- ・ 議長から、6月23日開催の議事要旨(案)の確認及び7月6日紙上開催の結果報告が行われ、原案のとおり承認された。

○審議事項

審議1 「弘前大学将来ビジョン(案)」について

吉澤企画担当理事から、資料1に基づき、「弘前大学将来ビジョン(案)」について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、今後字句等の修正が生じた場合には、学長に一任することです承された。

審議 2 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について

渡邊総務担当理事から、資料 2 に基づき、国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議 3 令和 2 年度弘前大学予算実施計画の変更について

渡邊総務担当理事から、資料 3 に基づき、令和 2 年度弘前大学予算実施計画の変更について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

審議 4 附属病院診療機能強化に伴う土地・建物の取得について

大山病院長から、資料 4 に基づき、附属病院診療機能強化に伴う土地・建物の取得について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告 1 弘前大学における新型コロナウイルスへの対応について

渡邊総務担当理事から、資料 5 に基づき、弘前大学の最近における新型コロナウイルスへの対応状況について報告があった。

報告 2 令和元事業年度 組織評価の評価結果 [確定] について

吉澤企画担当理事から、資料 6 - 1 及び 6 - 2 に基づき、令和元事業年度 組織評価の評価結果について報告があった。

報告 3 弘前大学教育学部附属学校の将来計画について

吉澤企画担当理事から、資料 7 に基づき、弘前大学教育学部附属学校の将来計画について報告があった。

報告 4 「国立大学法人弘前大学レポート」について

渡邊総務担当理事から、資料 8 に基づき、「国立大学法人弘前大学レポート」について報告があった。

報告 5 令和 2 年度医学部附属病院の経営状況について

大山病院長から、資料 9 に基づき、令和 2 年度医学部附属病院の経営状況について報告があった。

報告 6 令和 2 年度内部監査（特定監査項目）の結果について

加藤法人内部監査室長から、資料 10 に基づき、令和 2 年度内部監査（特定監査項目）の結果について報告があった。

報告 7 令和元事業年度財務諸表等の承認について

渡邊総務担当理事から、資料 11 - 1 及び 11 - 2 に基づき、令和元事業年度財務諸表等の承認について報告があった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 弘前大学における新型コロナウイルスへの対応について

□ 困窮が原因で退学せざるを得ない学生はいるのか。

- 経済的困難を理由に就学を断念する学生が出ることは避けようということで、貸付上限額、返済期限を設けず、金利もない「弘前大学生生活支援奨学金」による支援を行ってきた。数十人が借りていて、一番大きい金額を借りている学生で100万円。こういった支援もあってか、コロナの経済的な問題を理由とした退学者は出ていない。
- コロナの影響は今だけではなく、これからも続くと思われる。また弘前ではアルバイト先がもともと少ないが、さらに少なくなっているので、学生への支援を続けてほしい。
- 学生への支援を継続することは必要であると認識しており、みなさまからもご支援いただくことが来年以降も続くと思いますので、よろしく願いします。また、国へも要望していきたい。
- 県外出身で一人暮らしをしている学生で精神的ダメージを受けている学生はいるか。
- アンケート調査を行い、困窮している学生の状況や不安に感じている学生がいることも把握した。相談窓口を設け、10月から対面授業を再開したことで大きく悩んでいる学生がたくさんいるというわけではない。
- 企業が採用を控えるだけでなく、企業そのものがなくなっているが、学生の就職はどうか。
- オンライン面接を実施するところが増えているので、その対応ができるようにしている。また、きめ細かな学生相談を行っている。
- 就職活動は昨年と同じスケジュールで動いているが、影響は見えていない。新聞で内定取り消しが報じられているが、そういった問題は発生していない。

2 弘前大学教育学部附属学校の将来計画について

- 生徒数の減は、文部科学省の予算が関係しているのか。
- 全体の少子化の影響で、入学者が減っている。弘前市周辺の学校と規模を比べてみても附属学校は突出している。また、充足率が100%を下回っている現状もある。
- 附属学校は素晴らしい教育環境なので、時代の流れによる生徒数減は残念である。

3 令和2年度医学部附属病院の経営状況について

- コロナの影響はないのか。
- 患者が減ったのはコロナの影響であるが、診療単価が上がっている。

以上